



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月10日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4960 URL <https://www.chemipro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼俊 寿志
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 徳地 昭博 (TEL) 078 (393) 2524
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	9,760	0.2	357	△35.2	121	△54.2	71	△60.3
2022年3月期	9,743	2.0	552	58.3	264	138.8	179	△0.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	4.41	—	1.6	0.9	3.7
2022年3月期	10.97	—	3.9	2.0	5.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 - 百万円 2022年3月期 - 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	13,783	4,595	33.3	284.80
2022年3月期	13,452	4,574	34.0	283.50

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,595百万円 2022年3月期 4,574百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△694	△230	△29	953
2022年3月期	1,105	△248	△1,082	1,908

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	66	36.5	1.4
2023年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	33	45.4	0.7
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00		40.3	

(注) 配当金総額には、株式給付信託(BBT)導入にともない設定した信託口が保有する当社株式に対する配当金が含まれております。

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	9.6	400	11.8	200	65.1	120	68.8	7.44

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料のP13「3. 財務諸表及び主な注記(5)財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	16,623,613株	2022年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	2023年3月期	487,669株	2022年3月期	487,669株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	16,135,944株	2022年3月期	16,333,028株

(注) 1. 期末自己株式には、信託が保有する当社株式(当事業年度425,000株)を加算しております。

2. 期中平均株式数(年度累計)は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式(当事業年度425,000株)を控除して算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(持分法損益等)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概要

当事業年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立が進行する一方で、地政学的リスクによるエネルギー価格の高騰等にもともなうインフレの進行と各国の金融引き締め政策による景気減速等も発生し、欧米の金融機関の経営不安や破綻にもつながるなど、不安定かつ厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境の中で、当社の属するファインケミカル業界につきましては、円安の継続や原材料、エネルギー価格の高騰と供給不安等から、売上・収益環境は極めて厳しい状況でありました。

具体的な当事業年度における当社業績の売上面では、化学品事業で主力製品である紫外線吸収剤に加えて電子材料や酸化防止剤、製紙用薬剤での減収を受託製造製品等の増収でカバーしたもののほぼ横ばいで着地し、ホーム産業事業でも木材保存薬剤の販売が若干持ち直したものの、ほぼ横ばいでありました。売上高全体では、前年同期比16百万円増の9,760百万円（前年同期比0.2%増）で着地いたしました。利益面では、受託製造製品等の積極的取り込みを継続したものの紫外線吸収剤等の販売減少に加え、急激な製造コスト増加もあり営業利益は357百万円（同35.2%減）、経常利益は営業外費用として生産休止費用を176百万円計上し121百万円（同54.2%減）となりました。税引前当期純利益については、特別損益の計上がなかったことから121百万円（同54.2%減）となりました。当期純利益については、法人税、住民税及び事業税が43百万円、法人税等調整額が6百万円となり71百万円（同60.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当事業年度の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同期比13百万円減の5,495百万円（前年同期比0.3%減）となったことに加えて、電子材料が同103百万円減の93百万円（同52.5%減）、酸化防止剤が同72百万円減の514百万円（同12.3%減）、製紙用薬剤が同14百万円減の338百万円（同4.2%減）となる一方で、受託製造製品が同211百万円増の2,005百万円（同11.8%増）となり、全体では同17百万円増の8,779百万円（同0.2%増）となりました。

(ホーム産業事業)

当事業年度の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同期比4百万円増の795百万円（前年同期比0.5%増）となる一方で、その他が同5百万円減の185百万円（同2.7%減）となったことから、全体ではほぼ横ばいの980百万円（同0.1%減）となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円、%)

セグメント別	期別 区分	前事業年度 2022年3月期		当事業年度 2023年3月期		増減 金額
		金額	構成比	金額	構成比	
化学品事業	紫外線吸収剤	5,508,939	56.5	5,495,110	56.3	△13,829
	写真薬中間体	265,642	2.7	266,046	2.7	404
	製紙用薬剤	353,511	3.6	338,599	3.5	△14,912
	酸化防止剤	586,403	6.0	514,016	5.3	△72,387
	電子材料	196,216	2.0	93,214	1.0	△103,001
	受託製造製品	1,794,312	18.4	2,005,657	20.5	211,344
	その他	57,006	0.6	66,996	0.7	9,989
	(小計)	8,762,032	89.9	8,779,640	89.9	17,608
ホーム産業事業	木材保存薬剤	791,163	8.1	795,496	8.2	4,332
	その他	190,678	2.0	185,501	1.9	△5,177
	(小計)	981,841	10.1	980,997	10.1	△844
合計		9,743,874	100.0	9,760,638	100.0	16,763

(注) 金額には、消費税等を含んでおりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当事業年度（以下「当期」という。）の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という。）比330百万円増加し、13,783百万円となりました。流動資産は同497百万円増加の8,418百万円、固定資産は同166百万円減少の5,364百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、売掛金が52百万円、商品及び製品が771百万円、原材料及び貯蔵品が321百万円、未収入金が224百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が954百万円減少したことなどによるものであり、固定資産の減少の主な要因は、機械及び装置（純額）が128百万円減少したことなどによるものであります。

当期の負債は前期末比309百万円増加し9,188百万円となりました。流動負債は同80百万円増加の6,453百万円、固定負債は同229百万円増加の2,734百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、買掛金が171百万円、電子記録債務が157百万円それぞれ増加した一方で、支払手形が92百万円、リース債務が55百万円、その他の流動負債が64百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。固定負債の増加の主な要因は、長期借入金が175百万円増加したことなどによるものであります。

当期の純資産は前期末比20百万円増加し、4,595百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、当期純利益71百万円を計上した一方で、配当金の支払66百万円があったことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前期末の34.0%から33.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローにおいては694百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローにおいては230百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローにおいては29百万円の支出となった結果、前事業年度末に比し955百万円減少し、953百万円となりました。

当事業年度中における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、694百万円（前年同期は1,105百万円の獲得）となりました。

これは主に、税引前当期純利益が121百万円計上されたこと、減価償却費が478百万円計上されたこと、棚卸資産の増加額1,113百万円、仕入債務の増加額236百万円、未収入金の増加額224百万円などの要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、230百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

これは主に、老朽設備の更新を目的として設備投資を行ったことに伴う、有形固定資産の取得による支出が229百万円計上されたことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、29百万円（前年同期比97.3%減）となりました。

これは主に長期借入れによる収入1,200百万円、長期借入金の返済による支出1,032百万円、リース債務の返済による支出131百万円、配当金の支払い65百万円が計上されたことによるものであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	31.1	31.6	33.2	34.0	33.3
時価ベースの 自己資本比率(%)	20.6	20.0	31.9	33.3	34.4
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	26.3	5.2	11.7	5.4	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	3.5	18.3	8.1	15.9	—

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. 2023年3月期は営業キャッシュ・フローがマイナスのためキャッシュ・フロー対有利子負債比率とインタレスト・カバレッジ・レシオは数値を記載しておりません。

(4) 今後の見通し

世界経済は、長期化した新型コロナウイルス感染症による混乱からは脱したものの、地政学的リスク終息の目処が立たない中、原材料とエネルギー価格の高騰等は継続しており、加えて欧米の金融システム不安の高まりも影響し、不安定かつ不透明な状況にあります。

このような厳しい環境下にはありますが、次期(2024年3月期)の通期業績につきましては、売上高においては、当社主力製品である紫外線吸収剤などのプラスチック添加剤の新規製品も含めた需要回復と販売強化、注力している受託製造製品等での品目拡充を引き続き更に強化すること等で10,700百万円を見込んでおります。一方、利益面につきましては売上高の増加に加えて、利益率の高い製品の売上比率を高めることはもとより原材料やエネルギー価格高騰の価格転嫁を適正に進め、営業利益400百万円、経常利益200百万円、当期純利益120百万円となる予想であります。なお、業績予想につきましては年度後半に原材料やエネルギー価格の高騰が沈静化することと、グローバルマーケットにおける主力製品であるプラスチック添加剤の在庫調整が終息に向うことを前提としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,910,920	956,722
受取手形	7,092	8,317
電子記録債権	28,276	48,117
売掛金	2,144,222	2,196,985
商品及び製品	2,679,372	3,450,969
仕掛品	97,756	117,542
原材料及び貯蔵品	566,890	888,816
前払費用	67,305	68,197
未収入金	258,948	483,281
立替金	444	468
その他	166,057	204,975
貸倒引当金	△5,609	△5,499
流動資産合計	7,921,678	8,418,893
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,497,644	3,559,319
減価償却累計額	△2,570,722	△2,652,442
建物(純額)	926,922	906,877
構築物	794,251	803,831
減価償却累計額	△625,449	△643,407
構築物(純額)	168,801	160,423
機械及び装置	3,457,873	3,479,048
減価償却累計額	△2,896,234	△3,045,503
機械及び装置(純額)	561,639	433,545
車両運搬具	3,241	2,681
減価償却累計額	△3,161	△2,680
車両運搬具(純額)	79	0
工具、器具及び備品	638,475	695,387
減価償却累計額	△540,978	△594,212
工具、器具及び備品(純額)	97,496	101,174
土地	2,865,289	2,865,289
リース資産	1,075,446	846,444
減価償却累計額	△504,775	△308,829
リース資産(純額)	570,670	537,615
建設仮勘定	4,701	16,353
有形固定資産合計	5,195,600	5,021,279
無形固定資産		
ソフトウエア	2,433	1,822
電話加入権	7,979	7,979
無形固定資産合計	10,413	9,802

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	143,075	165,265
関係会社株式	10,800	10,800
破産更生債権等	15,264	14,904
長期前払費用	14,827	4,136
敷金	16,520	16,520
繰延税金資産	68,257	56,869
その他	71,787	80,219
貸倒引当金	△15,264	△14,904
投資その他の資産合計	325,268	333,812
固定資産合計	5,531,282	5,364,893
資産合計	13,452,961	13,783,787

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	92,861	—
電子記録債務	502,311	660,202
買掛金	817,220	988,899
短期借入金	2,850,000	2,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,002,500	995,000
リース債務	191,077	135,492
未払金	437,922	464,736
未払費用	171,695	157,905
未払法人税等	63,082	39,667
預り金	8,745	10,431
前受収益	618	600
賞与引当金	96,358	96,039
設備関係支払手形	3,531	—
営業外電子記録債務	70,708	54,721
その他	64,908	200
流動負債合計	6,373,543	6,453,897
固定負債		
長期借入金	1,512,500	1,687,500
リース債務	392,414	415,876
退職給付引当金	525,106	555,079
株式給付引当金	39,401	39,401
その他	35,402	36,494
固定負債合計	2,504,824	2,734,350
負債合計	8,878,367	9,188,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金		
資本準備金	1,052,562	1,052,562
その他資本剰余金	5	5
資本剰余金合計	1,052,567	1,052,567
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,419,843	1,424,683
利益剰余金合計	1,419,843	1,424,683
自己株式	△120,622	△120,622
株主資本合計	4,507,141	4,511,982
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67,452	83,557
評価・換算差額等合計	67,452	83,557
純資産合計	4,574,594	4,595,539
負債純資産合計	13,452,961	13,783,787

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高		
製品売上高	9,397,353	9,398,066
商品売上高	346,520	362,571
売上高合計	9,743,874	9,760,638
売上原価		
製品売上原価		
製品期首棚卸高	1,852,404	1,860,394
当期製品製造原価	7,811,619	8,897,986
合計	9,664,024	10,758,381
製品他勘定振替高	5,821	75
製品期末棚卸高	1,860,394	2,675,094
製品売上原価	7,797,808	8,083,210
商品売上原価		
商品期首棚卸高	20,810	37,955
当期商品仕入高	302,639	300,200
合計	323,449	338,155
商品他勘定振替高	213	59
商品期末棚卸高	37,955	26,856
商品売上原価	285,280	311,239
売上原価合計	8,083,089	8,394,450
売上総利益	1,660,784	1,366,187
販売費及び一般管理費		
発送運賃	206,527	140,030
旅費及び交通費	15,743	21,314
交際費	8,724	11,339
貸倒引当金繰入額	—	59
役員報酬	143,232	121,800
給料及び手当	212,725	207,390
賞与引当金繰入額	18,930	19,408
退職給付費用	15,693	14,588
地代家賃	23,971	23,560
賃借料	14,425	16,914
租税公課	45,868	43,608
支払手数料	74,201	71,495
減価償却費	13,465	11,840
研究開発費	189,524	186,734
その他	125,173	118,307
販売費及び一般管理費合計	1,108,209	1,008,392
営業利益	552,575	357,795

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	4,759	6,112
受取賃貸料	11,090	7,200
雑収入	8,335	8,216
営業外収益合計	24,193	21,533
営業外費用		
支払利息	70,363	65,844
賃貸収入原価	2,864	459
生産休止費用	217,721	176,311
雑損失	21,124	15,593
営業外費用合計	312,074	258,208
経常利益	264,693	121,120
税引前当期純利益	264,693	121,120
法人税、住民税及び事業税	44,561	43,804
法人税等調整額	40,964	6,231
法人税等合計	85,525	50,035
当期純利益	179,168	71,084

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	2,155,352	1,052,562	5	1,052,567	1,298,638	1,298,638	△40,751	4,465,807
当期変動額								
剰余金の配当					△57,963	△57,963		△57,963
当期純利益					179,168	179,168		179,168
自己株式の取得							△79,870	△79,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	121,204	121,204	△79,870	41,334
当期末残高	2,155,352	1,052,562	5	1,052,567	1,419,843	1,419,843	△120,622	4,507,141

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	59,377	59,377	4,525,184
当期変動額			
剰余金の配当			△57,963
当期純利益			179,168
自己株式の取得			△79,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,075	8,075	8,075
当期変動額合計	8,075	8,075	49,409
当期末残高	67,452	67,452	4,574,594

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	2,155,352	1,052,562	5	1,052,567	1,419,843	1,419,843	△120,622	4,507,141
当期変動額								
剰余金の配当					△66,243	△66,243		△66,243
当期純利益					71,084	71,084		71,084
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	4,840	4,840	—	4,840
当期末残高	2,155,352	1,052,562	5	1,052,567	1,424,683	1,424,683	△120,622	4,511,982

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	67,452	67,452	4,574,594
当期変動額			
剰余金の配当			△66,243
当期純利益			71,084
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	16,105	16,105	16,105
当期変動額合計	16,105	16,105	20,945
当期末残高	83,557	83,557	4,595,539

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	264,693	121,120
減価償却費	495,804	478,576
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33,390	29,973
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42	△318
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,066	△469
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	21,432	—
受取利息及び受取配当金	△4,767	△6,116
支払利息	70,363	65,844
売上債権の増減額 (△は増加)	41,340	△73,827
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△249,189	△1,113,309
仕入債務の増減額 (△は減少)	362,329	236,707
未収入金の増減額 (△は増加)	△8,341	△224,332
未払又は未収消費税等の増減額	95,010	△101,972
その他	29,663	15,963
小計	1,150,620	△572,162
利息及び配当金の受取額	4,767	6,116
利息の支払額	△69,576	△66,049
法人税等の支払額	△1,873	△62,895
法人税等の還付額	21,299	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,105,237	△694,990
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△246,226	△229,390
無形固定資産の取得による支出	△2,416	—
その他	△299	△1,582
投資活動によるキャッシュ・フロー	△248,942	△230,973
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,840,000	5,685,000
短期借入金の返済による支出	△5,840,000	△5,685,000
長期借入れによる収入	500,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,294,100	△1,032,500
自己株式の取得による支出	△79,870	—
リース債務の返済による支出	△150,440	△131,042
配当金の支払額	△57,896	△65,941
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,082,306	△29,483
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△226,011	△955,447
現金及び現金同等物の期首残高	2,134,695	1,908,684
現金及び現金同等物の期末残高	1,908,684	953,237

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、財務諸表に与える影響はございません。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

当社の関連会社はハリマトランジット株式会社の1社ですが、ハリマトランジット株式会社は重要性の観点から、持分法損益等の注記を省略しております。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

当社の関連会社はハリマトランジット株式会社の1社ですが、ハリマトランジット株式会社は重要性の観点から、持分法損益等の注記を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業内容や製品別等のセグメントから構成されており、「化学品事業」及び「ホーム産業事業」の2つを報告セグメントとしております。

「化学品事業」は紫外線吸収剤、写真薬中間体及び製紙用薬剤等の生産・販売を行っており、「ホーム産業事業」は木材保存薬剤等の生産・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	5,508,939	—	5,508,939
写真薬中間体	265,642	—	265,642
製紙用薬剤	353,511	—	353,511
酸化防止剤	586,403	—	586,403
電子材料	196,216	—	196,216
受託製造製品	1,794,312	—	1,794,312
木材保存薬剤	—	791,163	791,163
その他	57,006	190,678	247,684
顧客との契約から生じる収益	8,762,032	981,841	9,743,874
外部顧客への売上高	8,762,032	981,841	9,743,874
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	8,762,032	981,841	9,743,874
セグメント利益	934,821	64,883	999,704
セグメント資産	10,860,066	555,135	11,415,202
その他の項目			
減価償却費	482,916	5,643	488,559
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	276,889	12,120	289,009

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	5,495,110	—	5,495,110
写真薬中間体	266,046	—	266,046
製紙用薬剤	338,599	—	338,599
酸化防止剤	514,016	—	514,016
電子材料	93,214	—	93,214
受託製造製品	2,005,657	—	2,005,657
木材保存薬剤	—	795,496	795,496
その他	66,996	185,501	252,497
顧客との契約から生じる収益	8,779,640	980,997	9,760,638
外部顧客への売上高	8,779,640	980,997	9,760,638
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	8,779,640	980,997	9,760,638
セグメント利益	708,908	58,783	767,691
セグメント資産	12,122,929	511,450	12,634,380
その他の項目			
減価償却費	466,568	5,997	472,566
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	293,497	4,901	298,399

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	999,704	767,691
全社費用 (注)	△447,128	△409,896
財務諸表の営業利益	552,575	357,795

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資 産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	11,415,202	12,634,380
全社資産 (注)	2,037,759	1,149,407
財務諸表の資産合計	13,452,961	13,783,787

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理の現金及び預金であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	488,559	472,566	7,245	6,010	495,804	478,576
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	289,009	298,399	—	5,245	289,009	303,644

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社備品類の設備投資額であります。

【関連情報】

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 千円)

日本	その他	合計
8,633,964	1,109,909	9,743,874

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
BASFジャパン(株)	2,368,355	化学品事業

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 千円)

日本	その他	合計
8,833,563	927,074	9,760,638

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
BASFジャパン(株)	2,637,529	化学品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	283.50円	284.80円
1株当たり当期純利益金額	10.97円	4.41円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前事業年度425千株、当事業年度425千株)。
また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前事業年度227千株、当事業年度425千株)。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益金額(千円)	179,168	71,084
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	179,168	71,084
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,333	16,135

(重要な後発事象)

該当事項はありません。